

ごんりんしや

Nishikie Kindergarten

Phone 63-2038 fax 63-2034

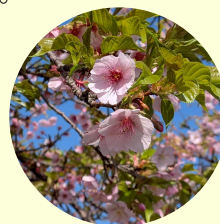


つながり

今年の卒園児は、1名でしたが、すべてのお母さんが卒園式に参加してくださいました。みなでお祝いしようという、錦江幼稚園らしい一面だと思うことでした。そこには、保護者のみなさんのつながりを感じました。それができるのが錦江幼稚園だと改めて思うことでした。ありがたいことです。

白いポケットも忙しい仕事の合間をぬって、子どもたちに心の栄養を与えていただきました。ありがとうございました。

次年度もよろしく願います。



積み上げてきたもの・・・それを

子どもたちがいち年かけて積み上げてきたもの、それは何でしょう。一言では言い表せないでしょう。でも、子どもたちは、常にお母さん・お父さんの期待に一生懸命に応えようとしていたことは確かです。運動会や生活発表会などの行事や普段の生活、この1年を親子で振り返り、成長を認め頑張りを褒めてほしいと思います。もう一つは、親自身がどれだけ成長できたかも振り返ってほしいですね。

子どもたちは、毎日の遊びを通して様々なことを経験し、多くのことを学んできました。非認知能力と言われる、道徳的なことも遊びの中で学んできました。大事なことは、今できていることを認めてあげることです。

この1年間子育てへの努力、本当にご苦労さまでした。親がわが子に「こうあってほしい」「こんな人間になってほしい」と願うのは当たり前のことですし、愛しているからこそその願いでしょう。しかし、その期待が強すぎると子どもはそれを重圧に感じて息苦しくなってしまいます。振り返ってみてください。聞き分けのいい子でいなさいとか、自分の思いを伝えすぎてきませんでしたか？そして、思いどおりにならないと、「どうしてできないの！」と責めたり、「お母さんのいうことがきけないの！」などと頭ごなしに叱ったりしませんでしたか？

子どもはお父さん・お母さんが大好きですから、その期待に応えようと本当はがんばっているのです。がんばっているのに、そんなふうに言われたらどう思いますか？

子どもは、いつも否定されていると、友だちも否定してしまう子どもになりかねません。

子どもが思いどおりにならないと、ついイライラしまいがちですが、子どもは子どもなりに一生懸命がんばっているのだということを、認めてあげてほしいと思います。

つまり、子どものいうことを聞いてあげる、要求を満たしてあげる。できないことを指摘するより、できていることを見つけて「よくがんばっているね」と認めてあげるの方が子どもにとっては力強い応援になると思います。

卒園式へ向けての取り組みを見ながら、子どもたちの成長を感じられずにはいませんでした。卒園式に参加されたお母さん方も同じように感じられたと思います。ハプニングもありますが、子どもにとっては、失敗ではないのです。

成長の段階でのことですから待つ心と傾聴することをわすれないでほしいです。



守る・育てる

私たち親は、わが子を『守る』ことにはよく目がいきます。もちろん状況に応じてになりますが、子育ての両輪という視点で見ると、『育てる』という視点も忘れてはならないことだと思います。子どもたちに何を育てるのか、ということになります。いつも親や先生の手助けが必要なのか。たとえ上手くいかなくても、自分なりの納得感が得られる体験をさせられるか。イソップ物語の「北風と太陽」の話を思い出して見てください。子どもたちがやがて親元を離れて社会に出ていく。そこは必ずしも太陽に包まれたところばかりではありません。むしろ厳しい現実や辛い境遇が数多く待ち受けていることの方が多いかもしれません。自立の基礎を培う幼児期だからこそ、たくましく生きる人間の基礎を身につけさせることもわたしたちに課せ

られた責務ではないでしょうか。適度な負荷を与えつつ。

園では体験活動のひとつとして、野菜づくりも行っています。特に冬野菜は、凍つくような寒さに負けない野菜の強さを子どもたちは目の当たりにしました。葉や根に糖分はもちろんビタミンなどの量を増やすことで凍りつきにくくなるのです。冬野菜に例えましたが、守ることだけでなく、育てるために何をしなければならぬのかを今一度考えることも必要かもしれません。

4月からそれぞれ進級しますが、みんなと同じようにという考え方は置いて、わが子の成長をわが子のステップで見てあげることが忘れてはなりません。年中さん・年長さんになったんだから・・・できなくてはいけませんよ。などという声かけよりも「年中・年長さんになったら、格好よくなったね!」と言われた方が子どもも嬉しいと思います。

思いを共有し、目を見てうなづきながら聞き、一緒に考えてやってみたり、やったことを振り返ることが、成長につながっていくと思います。

